

《歴史》 ～古代の世界～

- 20万～10万年前に現れた、現在の人類の直接の祖先に当たる人類。 (新人)
- チグリス (ティグリス) 川とユーフラテス川のほとりに発展した文明。 (メソポタミア文明)
- 計画的に建設されたモヘンジョ・ダロの遺跡を特徴とする文明。 (インダス 文明)
- 約1万年前まで続いた、打製石器で狩りを行っていた時代。 (旧石器時代)
- 磨製石器のほか、弓矢や土器が使われるようになった時代。 (新石器時代)
- 紀元前16世紀、中国の黄河流域におこった国。 (殷)
- 紀元前3世紀に、始皇帝が統一した国。 (秦)

～日本の古代～ ～縄文から古墳～

- 1世紀半ばに後漢に使いを送り、金印を授かった国。 (奴国)
- 魏に使いを送り、倭の王として認められた邪馬台国の女王。 (卑弥呼)
- 4世紀におこり、新羅や高句麗と戦った朝鮮半島南西部の国。 (百濟)

～飛鳥時代～

- 冠位十二階の制度や十七条の憲法を定め、政治の改革を行った人物。 (聖徳太子)
- 聖徳太子が示した、役人としての心構え。 (十七条の憲法)
- 聖徳太子が定めた、才能のある人物を登用するための制度。 (冠位十二階の制度)
- 朝鮮半島から日本に移り住み、さまざまな技術を伝えた人々。 (渡来人)
- 大化の改新の中心人物で、のちに天智天皇として即位した人物。 (中大兄皇子)
- 701年に、唐の法律にならって作られた刑罰と政治の決まり。 (大宝律令)

～奈良時代～

- 奈良に都が置かれ、約80年間にわたり律令政治が行われた時代。 (奈良時代)
- 唐の長安にならって造られた、奈良時代の都。 (平城京)
- 6歳以上の男女に口分田を与え、死ぬと国に返させた制度。 (班田収授法)
- 班田収授によって、6歳以上の男女に与えられた土地。 (口分田)
- 743年に定められた、新しく開墾した土地の所有を認める法律。 (墾田永年私財法)
- 寺院や貴族が、開墾や買い取りによって広げた私有地。 (荘園)
- 大仏を造り、仏教の力で病気やききんから国を守ろうとした天皇。 (聖武天皇)

～平安時代～

- 京都に都が置かれ、約400年間にわたり貴族中心の政治が行われた時代。 (平安時代)
- 794年に、桓武天皇によって京都に移された都。 (平安京)
- 9世紀末に、菅原道真の提案によって停止された唐への使節。 (遣唐使)

～日本の中世～ ～鎌倉時代～

- 1086年に、天皇の位をゆずった後も上皇として院政を行った人物。 (白河上皇)
- 白河天皇が、天皇の位をゆずった後に上皇として行った政治。 (院政)
- 源頼朝が荘園や公領ごとに置いた役職。 (地頭)
- 将軍が御家人に対し、元の領地の保障や新しい領地の付与を行うこと。 (御恩)

- 北条氏が代々ついた、鎌倉幕府における将軍を補佐する役職。 (執権)
- 1221年に、幕府をたおすために後鳥羽上皇が起こした戦乱。 (承久の乱)
- 承久の乱の後、朝廷を監視するために鎌倉幕府が京都に置いた役所。 (六波羅探題)
- 1232年に、武家社会の慣習をもとに北条泰時が定めた最初の武家法。 (御成敗(貞永)式目)
- 13世紀に、チンギス・ハンが建設した広大な国。 (モンゴル帝国)
- 大都を都とする元の皇帝で、二度に渡り日本を攻めさせた人物。 (フビライ・ハン)
- 1274年に、元が博多湾をおそった戦乱。 (文永の役)
- 1281年に、サイド元軍が日本を攻めた戦乱。 (弘安の役)
- 元軍との戦いの後、生活に苦しむ御家人を救うために出された法令。 (永仁の徳政令)

～室町時代から戦国時代～

- 鎌倉幕府をほろぼした後、醍醐天皇が行った、天皇中心の政治。 (建武の新政)
- 約60年にわたり、朝廷が京都と吉野に分かれていた動乱の時代。 (南北朝時代)
- 足利義満が始めた、朝貢の形で行った中国との貿易。 (日明・勘合貿易)
- 禅宗の建築様式の見られる銀閣を建てた室町幕府の8代将軍。 (足利義政)
- 14世紀に、漢民族が元をほろぼして建設した国。 (明)
- 14世紀末に、李成桂が高麗をほろぼして建設した朝鮮半島の国。 (朝鮮国)
- 室町時代の農村で見られた、有力な農民を中心にした自治組織。 (惣)
- 約10年続いた、将軍の世継ぎ問題と守護大名の争いが絡み合った戦乱 (応仁の乱)
- 室町幕府の力が弱まってから、約100年間続いた戦乱の時代。 (戦国時代)
- 戦国大名が、領地を治めていくために独自に定めた法律。 (分国法)

～仏教・文化・建築～

- シャカが開いた、修行により苦しみを取り除くことを目指す教え。 (仏教)
- 7世紀初めに、ムハンマドが説いた唯一神アラーを信仰する教え。 (イスラム教)
- 平安時代の初めに、唐で学んだ最澄が開いた教え。 (天台宗)
- 親鸞が開いた、阿弥陀如来を信じて念仏を唱える教え。 (浄土真宗)
- 栄西・道元が宋で学んだ、座禅を組み自力でさとりを開くという教え。 (禅宗)
- 運慶・快慶によって、東大寺の南大門に制作された仏像。 (金剛力士像)
- 観阿弥・世阿弥が、猿楽を発展させて完成させた芸術。 (能)
- 能の合間に演じられた、こっけいな対話劇。 (狂言)
- 天皇から農民まで、およそ4500首の歌を集めた歌集。 (万葉集)
- 清少納言が、体験したことや感じたことを記した随筆。 (枕草子)
- 後鳥羽上皇の命令で藤原定家がまとめた鎌倉時代の歌集。 (新古今和歌集)
- 琵琶法師によって語られた、源氏と平氏の戦乱を記した軍記物。 (平家物語)
- 聖武天皇が都に建てた、大仏が納めれている寺院。 (東大寺)
- 聖武天皇が、国分尼寺とともに国ごとに建てた寺院。 (国分寺)
- 弥生時代に見られる、ねずみや湿気を防ぐ工夫のされた稲の保管庫。 (高床倉庫)
- 平安時代の貴族の屋敷の建築様式。 (寝殿造)
- 床の間や畳が使用された、現在の和風建築のもとである建築様式。 (書院造)